



ご入学・ご進級おめでとうございます。お子さんが安心して安全な学校生活を送り、体も心も大きく成長することを願っています。ほけんだよりでは、健康についての情報をお知らせします。ご家庭でお子さんといっしょにお読みください。



養護教諭のと
です。

4月の保健目標

自分のからだを知ろう

春は、さまざまな健康診断があります。健康診断は自分の体のようす、成長のようすを知ることができます。また、学校生活を送る上で病気などによる心配ごとがないか、調べる大切な機会です。検査の日いちや受け方を確認し、正しく検査を受けましょう。

定期健康診断日程

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	さくら
聴力検査	4/13(月)	4/10(金)	4/9(木)		4/8(水)		4/10(金)
視力検査	4/22(水)	4/21(火)	4/17(金)	4/16(木)	4/15(水)	4/14(火)	4/21(火)
尿検査	4/20(月)朝に提出します。※当日朝の尿をとります。 ※4/17(金)に容器を配付します。						
歯科検診	4/23(木)						
身体測定	4/24(金)	5/1(金)	4/28(火)	4/28(火)	4/27(月)	4/27(月)	5/1(金)
内科検診	5/11(月)	5/11(月)	5/7(木)	5/7(木)	4/30(木)	4/30(木)	5/11(月)
眼科検診	5/28(木)						
結核検診	※保健調査票の結核の欄に漏れないよう記入してください。検査対象者には別途案内があります。						
耳鼻科検診	5/21(木)	★	5/21(木)	★	5/21(木)	★	5/21(木)
心臓病検診 (心電図)	5/18(月)	※4/20(月)に調査票を配付します。記入のうえ担任に提出してください。					
色覚検査	※希望者に対して実施します。希望される場合は、連絡帳で担任までご連絡ください。						

★2・4・6年生の耳鼻科検診は、昨年度の欠席者・昨年疾病があった児童・保健調査票からの抽出者のみが対象になります。

※心臓病検診は、検査機関の巡回スケジュールの都合で午後から始まります。14:40に検査が終了し、以降の下校となる予定です。下校時刻が遅くなることをご了承ください。すみやかに検査を進められるよう努めますが、終了時刻に多少の前後があることも併せてご了承ください。



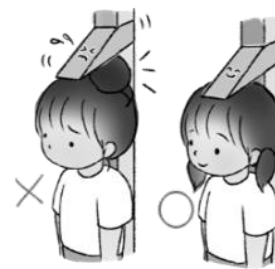
みなさんの健康を守るために健康診断・健康相談・環境衛生面などでのサポートをさせていただきます。

内科	染谷 貴志	先生 (そめや内科クリニック)	Tel 712-3366
歯科	小柴 博人	先生 (小柴歯科医院)	Tel 888-3161
耳鼻科	岡坂 吉記	先生 (子母口耳鼻咽喉科医院)	Tel 788-7650
眼科	伊東 靖人	先生 (いとう眼科)	Tel 870-7755
薬剤師	川松 あや	先生 (二子薬局 津田山店)	Tel 850-5376

健康診断を受けるときのお願い

身体測定

- ・体操着が必要です。可能な限り半袖・半ズボンでお願いします。
- ・身長を正確に測るために、頭の上や真後ろで髪の毛を結ばないでください。



視力検査

- ・メガネ・コンタクトレンズを使っている児童は検査に必要です。
- ・目をかくすためにハンカチを使います。忘れないようにしましょう。

歯科検診

- ・おうちでていねいに歯みがきをしておきましょう。

内科検診

<内科検診の目的>

内科健康診断では、医師（内科学校医）が、「心臓の疾病及び異常の有無」のほか、「脊柱及び胸郭の疾病」や「皮膚疾患の有無」等について診察します。正確かつ適正に診察・検査を行うことで病気を早期に発見し、治療につなげることが重要ですので、家庭における健康観察に協力願います。

<検査方法と内容>

- ・診察は、児童（生徒）の身体が周囲から見えないよう、囲いやカーテン等による個別の診察スペースで、養護教諭等の教職員が立会って実施しています。
- ・検査・診察時の服装については、正確な検査・診察に支障のない範囲で、原則、体操服や下着等の着衣、又はタオル等により身体を覆い、児童生徒等のプライバシーや心情に配慮しながら行いますが、正確な検査・診察を行うため、必要に応じて、医師が、体操服・下着やタオル等をめくって視触診したり、体操服・下着やタオル等の下から聴診器を入れたりする場合があります。
- ・検査内容は次の4点です。

① 脊柱の疾病及び異常の有無

保健調査票等の情報を参考に、脊柱の捻れやわん曲などの脊柱の疾病及び異常の有無を確認する際に、正確な判断を行うため、視診し、必要に応じて、背中や腰を触診する場合や前屈テストを行うことがあります。

② 胸郭の疾病及び異常の有無

保健調査票等の情報を参考に、胸部の陥没や突出等の変形などの胸部の疾病及び異常の有無を確認する際に、正確な判断を行うため、視診し、必要に応じて、前胸部等を触診する場合があります。

③ 皮膚疾患の有無

伝染性軟属腫（みずいぼ）や伝染性膿痂疹（とびひ）、アトピー性皮膚炎などの皮膚疾患の有無を確認する際に、皮膚の状態を視診し、必要に応じて、触診する場合があります。なお、特に外傷の疑いがある場合などは、臀部や腹部を視診する場合があります。

④ 心臓の疾病及び異常の有無

心臓の疾病及び異常の有無を確認する際に、下着等の上からでは心臓の音が聞こえづらいため、肌に聴診器を当て聴診します。